

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の安全・安心なまちづくり

平 成 2 8 年 3 月 2 3 日

神 奈 川 県 川 崎 市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成28年3月23日

計画の名称	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の安全・安心なまちづくり				重点計画の該当	○
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）	交付対象	川崎市			
計画の目標						

土地区画整理事業により、都市計画道路等の公共施設を中心としたバリアフリー化を含む総合的な基盤整備を行うなど、安全・安心なまちづくりを推進する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・都市基盤整備率を75%に増加させる。
- ・まちづくり勉強会等への参加者の満足度を70%以上得る。
- ・駅前広場に結節する幹線道路の整備及びバリアフリー対策を推進し、15%整備する。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
-------	-----------------	-----------------

備考

都市基盤整備率 土地区画整理事業による市街地環境改善の効果を、特に防災上の観点から建物移転棟数で評価する。 【建物移転実施棟数】(棟) / 【建物移転棟数総数】 1,358棟	53% (H26末)	—	75%
住民との協働によるまちづくりの評価 住民との協働によるまちづくりの過程及び成果を、まちづくり勉強会等への参加者の質的な満足度（アンケート調査等）により定量的に評価する。 まちづくり勉強会等が「有意義であった」「非常に有意義であった」と回答した人数（人） / 全回答者数（人）	—	—	70%
バリアフリー経路の整備率 川崎市バリアフリー基本構想に基づき、地区内においてバリアフリー経路となっている整備予定路線の整備実施延長で評価する。 幹線道路(※)整備延長(m) / 幹線道路(※)残事業整備延長(m) ※バリアフリー経路に限る。	—	—	15%

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	7,743 百万円	A	7,688 百万円	B	38 百万円	C	17 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合	0.2%
-------	-----------------	-----------	---	-----------	---	--------	---	--------	---	-------	------------	------

交付対象事業

A 市街地整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
A-1	区画整理	一般	川崎市	直接	川崎市	登戸土地区画整理事業（都市再生区画整理事業）	A=37.2ha	川崎市						7,688	別添1
合計													7,688		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
B-1	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	下水道事業（登戸地区）	区画整理区域内の下水道整備 A=37.2ha	川崎市						38	別添2
合計													38		

番号 一体的に実施することにより期待される効果

B-1 区画整理事業（1-A-1）と一体的に整備することにより、生活環境の改善を図る

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
C-1	計画・調査	一般	川崎市	直接	川崎市	事業評価検討調査	事業評価に係る調査検討業務	川崎市						5	
C-2	計画・調査	一般	川崎市	直接	川崎市	まちづくり活動推進事業	道路空間等、街並み形成活動推進に係る検討業務	川崎市						12	
合計													17		

番号 一体的に実施することにより期待される効果

C-1 区画整理事業（1-A-1）における事業効果を計測することを目的として調査を実施する。

C-2 区画整理事業（1-A-1）と一体的に実施することで、良好な街なみの形成を誘導する。

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成28年3月23日

計画の名称	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の安全・安心なまちづくり			重点計画の該当	○
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）	交付対象	川崎市		
計画の目標	土地区画整理事業により、都市計画道路等の公共施設を中心としたバリアフリー化を含む総合的な基盤整備を行うなど、安全・安心なまちづくりを推進する。				

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		

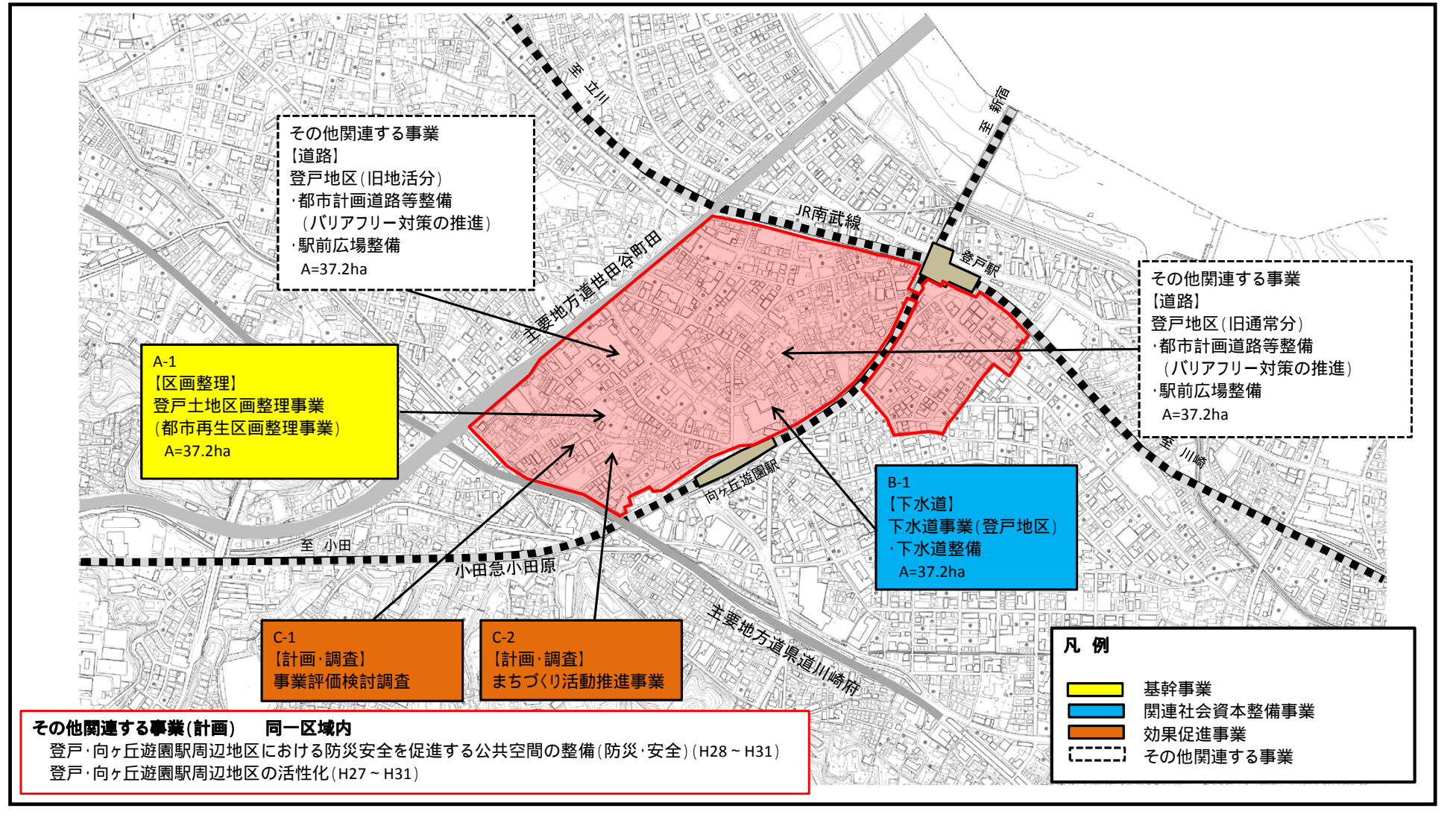
その他関連する事業

計画等の名称		登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の活性化														
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考		
								H27	H28	H29	H30	H31				
1-A'-1	区画整理	一般	川崎市	直接	川崎市	登戸土地区画整理事業	A=37.2ha	川崎市							1,036	
1-A'-2	道路	一般	川崎市	直接	川崎市	登戸地区（旧通常分）	都市計画道路整備 A=37.2ha	川崎市							87	
1-A'-3	道路	一般	川崎市	直接	川崎市	登戸地区（旧地活分）	都市計画道路整備 A=37.2ha	川崎市							236	
1-B'-1	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	下水道事業（登戸地区）	区画整理区域内の下水道整備 A=37.2ha	川崎市							5	
1-C'-1	計画・調査	一般	川崎市	直接	川崎市	まちづくり活動推進事業	街並み形成活動推進に係る検討業務	川崎市							0	

計画等の名称		登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区における防災安全を促進する公共空間の整備（防災・安全）															
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31			
A'-1	道路	一般	川崎市	直接	川崎市	区画	改築	登戸地区（旧通常費対象路線）	A=37.2ha (都市計画道路及び駅前広場新設整備)	川崎市						2,642	
A'-2	道路	一般	川崎市	直接	川崎市	区画	改築	登戸地区（旧地域活力基盤創造交付金対象路線）	A=37.2ha (都市計画道路及び駅前広場新設整備)	川崎市						1,141	

A'	5,142 百万円	B'	5 百万円	C'	0 百万円	D'	0 百万円	$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C') + (D+D'))$	0.13%
----	-----------	----	-------	----	-------	----	-------	--	-------

計画の名称	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の安全・安心なまちづくり		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成31年度 (4年間)	交付対象	川崎市



のぼりと
登戸土地区画整理事業
(神奈川県川崎市)

1 概要

当地区は都心部から至近距離にあるため、急激な人口集中が始まる中で、急速に市街化が進行した。その結果、低層の木造住宅が密集し、道路の幅員が狭く下水道も未整備であったことから、防災性や生活環境について大きな課題を抱えている。

これらの課題を解決するため、市施行の土地区画整理事業により、幹線道路（都市計画道路）や駅前広場といった主要な基盤施設とともに、区画道路や公園など、身近な基盤施設の整備とあわせて、土地の整形化や建物の更新を図ることで、防災性の向上や生活環境の改善を推進し、川崎市の地域生活拠点にふさわしい健全な市街地の形成を図ることを目的とする。

2 計画内容

施 行 者：川 崎 市

所 在 地：川崎市多摩区登戸

面 積：約37.2ヘクタール

事 業 費：約770億円

施行期間：昭和63年9月16日から平成38年3月31日

整備内容：公共施設

[都市計画道路] 登戸1号線（幅員16m）・登戸2号線（幅員12m）
登戸3号線（幅員12m）・登戸野川線（幅員16m）
登戸駅線（幅員11m）

[交通広場等] 向ヶ丘遊園駅（約5,400㎡）
登戸駅（約4,600㎡）
その他、区画道路等

[公 園] 1号街区公園（約2,500㎡）・2号街区公園（約2,500㎡）
3号街区公園（約1,500㎡）

3 主な経緯

昭和50年	6月	登戸地区都市整備懇談会発足
56年	4月	事業手法を土地区画整理事業とすることで懇談会と合意
59年	7月	登戸地区土地区画整理事業推進協議会発足
60年	3月	基本計画案作成
63年	3月	都市計画決定
63年	9月	事業計画認可
平成3年	11月	事業計画変更(第1回)
6年	3月	事業計画変更(第2回)
15年	8月	事業計画変更(第3回)
28年	2月	事業計画変更(第4回)



下水道整備（登戸地区）

別添2



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の安全・安心なまちづくり

事業主体名：川崎市

当該計画はその他関連事業との相互連携により、目標の達成及びその効果を発現するものであるため、その他関連事業を含めた、事前評価を行う。

【その他関連事業】

社会資本整備総合計画「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区における防災安全を促進する公共空間の整備(防災・安全)」(H28～H31)

社会資本整備総合計画「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の活性化」(H27～H31)

チェック欄

I. 目標の妥当性

①上位計画等との整合性

1) 上位計画等(川崎市総合計画及び川崎市都市計画マスタープラン等)と整合性が確保されている。

○

②地域の課題への対応

1) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。

○

II. 計画の効果・効率性

③目標と定量的指標の整合性等

1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。

○

2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。

○

④定量的指標の明瞭性

1) 指標・数値目標は、市民にとって分かりやすいものとなっている。

○

⑤目標と事業内容の整合性

1) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。

○

⑥事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性

1) 事業連携等による相乗効果等が得られるものとなっている。

○

III. 計画の実現可能性

⑦円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)

1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。

○

2) 計画について住民等との間で合意形成がされている。

○

3) 事業実施のための環境整備が図られている。

○

⑧地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)

1) まちづくりに向けた機運がある。

○

2) 住民等の活動及び関連他事業との連携等による事業効果発現が見込まれる。

○